

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	第二東海自動車道(海老名南JCT～秦野)
事業主体	中日本高速道路㈱

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	費用便益比 (B/C) = 1.6 (経済的純現在価値 (B-C) = 3.859億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 6.1%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	渋滞損失時間(整備前): 13.82億人・時間/年 渋滞損失削減時間(削減率): 21.3百万人・時間/年 (1.5%) (13.82億人・時間/年→13.60億人・時間/年)
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	神奈川県で旅行速度の改善が期待される 特に並行する国道246号において旅行速度の改善が期待される
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	新たなバス路線が期待できる 現東名利用の高速バス全般
		<input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	対象駅: 新横浜駅 対象自治体: 秦野市 改善見込み: 秦野市役所～新横浜駅、56分⇒50分 (6分短縮)
		<input checked="" type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	対象駅: 羽田空港 対象自治体: 秦野市工業団地 改善見込み: 秦野市工業団地～羽田空港、78分⇒70分 (8分短縮)
	物流効率化の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象駅: 横浜港 対象自治体: 秦野市 改善見込み: 秦野市役所～横浜港、55分⇒49分 (6分短縮)
		<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	静岡県: みかん(全国の約14%収穫・H25)・お茶(全国の約38%収穫・H25)
		<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくは150規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	秦野市総合計画HADANO2020プラン
<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である			
<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である			

1. 活力		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	東西交流の拠点を結ぶルートとなる
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：東京都・名古屋市 改善見込み：東京都(東京都庁)～名古屋市(名古屋県庁)、4時間50分⇒4時間30分：20分短縮(全線開通時)
個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
	<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	丹沢大山国定公園 神奈川県立戸川公園 等	
	<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である		
	<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
	<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である		
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	新たに30分以内に東海大学医学部付属病院へ到達可能となる人口・面積(1kmメッシュ)：約5万8千人・約24km ² 松田町役場～東海大学医学部付属病院、39分⇒30分、9分短縮	
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

3. 安全	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	現東名道・国道246号（神奈川県地域防災計画） 「東海地震対策大綱」（中央防災会議：会長内閣総理大臣）において、「地震に強い交通ネットワーク」として位置付け
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名：現東名 代替する区間（厚木IC～秦野中井IC）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	排出削減量：8.4万t/年、排出削減率：0.05%削減
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	排出削減量：142t/年、排出削減率：0.03%削減
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	排出削減量：22t/年、排出削減率：0.09%削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	神奈川県：改定・かながわのみちづくり計画 静岡県：ふじのくにの“みちづくり”
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
第二東海自動車道	海老名南JCT～ 秦野	L=21km	高速自動車国道	－

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
17,100～55,400	4	中日本高速道路㈱

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成26年度		
単純合計	7,023億円	760億円	7,783億円
うち残事業分	4,759億円	760億円	5,519億円
基準年における 現在価値 (C)	6,645億円	273億円	6,918億円
うち残事業分	4,142億円	273億円	4,415億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成26年度			
供用年	平成32年度			
単年便益 (初年便益)	477億円	35億円	9億円	522億円
基準年における 現在価値 (B)	9,855億円	726億円	196億円	10,777億円
うち残事業分	9,855億円	726億円	196億円	10,777億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.6
経済的純現在価値（事業全体）	3,859億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.1%
費用便益比（残事業）	2.4
経済的純現在価値（残事業）	6,362億円
経済的内部収益率（残事業）	9.8%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	17,100～ 55,400	±10%	2.2～2.7
事業費	6,918億円	±10%	2.2～2.7
事業期間	6年	±1年	2.3～2.5

交通状況の変化（事業全体）

様式－3①

事業名：第二東海自動車道（海老名南JCT～秦野）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設道路（海老名南J～秦野）：21km	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	46,100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	15	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	160	
②主な周辺道路 ^{※4}	東名：24km	交通量	[台/日]	83,800	66,300
		走行時間	[分]	22	17
		走行時間費用	[億円/年]	390	244
	国道1号：20.2km	交通量	[台/日]	41,800	39,300
		走行時間	[分]	64	62
		走行時間費用	[億円/年]	616	565
	国道246号：28.1km	交通量	[台/日]	38,300	37,000
		走行時間	[分]	92	87
		走行時間費用	[億円/年]	758	704
	小田原厚木道路：25.1km	交通量	[台/日]	26,900	22,900
		走行時間	[分]	18	18
		走行時間費用	[億円/年]	99	82
	(主)平塚秦野線：11.4km	交通量	[台/日]	28,300	27,300
		走行時間	[分]	39	37
		走行時間費用	[億円/年]	251	236
	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]			
③その他道路合計：41,139.2km	走行時間費用	[億円/年]	264,009	263,508	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：41,269.0km	走行時間短縮便益	[億円/年]	266,123	265,499	625

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名：第二東海自動車道(海老名南JCT～秦野)



費用便益分析の条件

事業名: 第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成26年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (2030)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 配分条件であるQV式に基づく配分交通量(日交通量)の走行速度 を採用		
その他(高規格道路の速度は、道路種別・車線当たり交通量 から設定。また一般道の速度は沿道条件・交差点密度等の 道路条件を考慮し設定)		<input checked="" type="checkbox"/>	

事業名: 第二東海自動車道(海老名南JCT～秦野)

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		<input type="checkbox"/>	
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	算出根拠を添付すること		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	算出根拠を添付すること		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表(事業全体)

				維持管理費の単純単価の算出			
箇所名: 第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				-	21	-	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-23年目	H 10	1.8730	120.8	14	21		0
-22年目	H 11	1.8009	119.1	66	100		0
-21年目	H 12	1.7317	117.8	124	183		0
-20年目	H 13	1.6651	116.2	47	68		0
-19年目	H 14	1.6010	114.1	34	47		0
-18年目	H 15	1.5395	112.4	68	94		0
-17年目	H 16	1.4802	111.0	156	208		0
-16年目	H 17	1.4233	109.5	60	78		0
-15年目	H 18	1.3686	108.5	63	79		0
-14年目	H 19	1.3159	107.3	94	115		0
-13年目	H 20	1.2653	106.4	84	99		0
-12年目	H 21	1.2167	105.1	80	93		0
-11年目	H 22	1.1699	103.0	207	235		0
-10年目	H 23	1.1249	101.2	190	211		0
-9年目	H 24	1.0816	100.3	129	140		0
-8年目	H 25	1.0400	100.0	122	127		0
-7年目	H 26	1.0000	100.0	726	726		0
-6年目	H 27	0.9615	100.0	1,267	1,218		0
-5年目	H 28	0.9246	100.0	1,364	1,261	1	1
-4年目	H 29	0.8890	100.0	785	697	1	1
-3年目	H 30	0.8548	100.0	681	583	5	5
-2年目	H 31	0.8219	100.0	298	245	6	5
-1年目	H 32	0.7903	100.0	364	288	14	11
供用開始年次	H 33	0.7599	100.0		0	14	11
1年目	H 34	0.7307	100.0		0	14	10
2年目	H 35	0.7026	100.0		0	14	10
3年目	H 36	0.6756	100.0		0	14	10
4年目	H 37	0.6496	100.0		0	15	9
5年目	H 38	0.6246	100.0		0	15	9
6年目	H 39	0.6006	100.0		0	15	9
7年目	H 40	0.5775	100.0		0	15	9
8年目	H 41	0.5553	100.0		0	15	8
9年目	H 42	0.5339	100.0		0	15	8
10年目	H 43	0.5134	100.0		0	15	8
11年目	H 44	0.4936	100.0		0	15	7
12年目	H 45	0.4746	100.0		0	15	7
13年目	H 46	0.4564	100.0		0	15	7
14年目	H 47	0.4388	100.0		0	15	7
15年目	H 48	0.4220	100.0		0	15	6
16年目	H 49	0.4057	100.0		0	15	6
17年目	H 50	0.3901	100.0		0	15	6
18年目	H 51	0.3751	100.0		0	15	6
19年目	H 52	0.3607	100.0		0	15	6
20年目	H 53	0.3468	100.0		0	15	5
21年目	H 54	0.3335	100.0		0	15	5
22年目	H 55	0.3207	100.0		0	15	5
23年目	H 56	0.3083	100.0		0	15	5
24年目	H 57	0.2965	100.0		0	15	5
25年目	H 58	0.2851	100.0		0	15	4
26年目	H 59	0.2741	100.0		0	15	4
27年目	H 60	0.2636	100.0		0	15	4
28年目	H 61	0.2534	100.0		0	15	4
29年目	H 62	0.2437	100.0		0	15	4
30年目	H 63	0.2343	100.0		0	15	3
31年目	H 64	0.2253	100.0		0	15	3
32年目	H 65	0.2166	100.0		0	15	3
33年目	H 66	0.2083	100.0		0	15	3
34年目	H 67	0.2003	100.0		0	15	3
35年目	H 68	0.1926	100.0		0	14	3
36年目	H 69	0.1852	100.0		0	14	3
37年目	H 70	0.1780	100.0		0	14	3
38年目	H 71	0.1712	100.0		0	14	2
39年目	H 72	0.1646	100.0		0	14	2
40年目	H 73	0.1583	100.0		0	14	2
41年目	H 74	0.1522	100.0		0	14	2
42年目	H 75	0.1463	100.0		0	14	2
43年目	H 76	0.1407	100.0		0	14	2
44年目	H 77	0.1353	100.0		0	14	2
45年目	H 78	0.1301	100.0		0	14	2
46年目	H 79	0.1251	100.0		0	14	2
47年目	H 80	0.1203	100.0		0	14	2
48年目	H 81	0.1157	100.0		0	14	2
49年目	H 82	0.1112	100.0	-2,438	-271	14	2
合計				4,585	6,645	760	273
単純事業費計				7,023		760	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出

箇所名: 第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
-	21	-

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-23年目	H 10	1.8730	120.8				
-22年目	H 11	1.8009	119.1				
-21年目	H 12	1.7317	117.8				
-20年目	H 13	1.6651	116.2				
-19年目	H 14	1.6010	114.1				
-18年目	H 15	1.5395	112.4				
-17年目	H 16	1.4802	111.0				
-16年目	H 17	1.4233	109.5				
-15年目	H 18	1.3686	108.5				
-14年目	H 19	1.3159	107.3				
-13年目	H 20	1.2653	106.4				
-12年目	H 21	1.2167	105.1				
-11年目	H 22	1.1699	103.0				
-10年目	H 23	1.1249	101.2				
-9年目	H 24	1.0816	100.3				
-8年目	H 25	1.0400	100.0				
-7年目	H 26	1.0000	100.0				
-6年目	H 27	0.9615	100.0	1,267	1,218		0
-5年目	H 28	0.9246	100.0	1,364	1,261	1	1
-4年目	H 29	0.8890	100.0	785	697	1	1
-3年目	H 30	0.8548	100.0	681	583	5	5
-2年目	H 31	0.8219	100.0	298	245	6	5
-1年目	H 32	0.7903	100.0	364	288	14	11
供用開始年次	H 33	0.7599	100.0		0	14	11
1年目	H 34	0.7307	100.0		0	14	10
2年目	H 35	0.7026	100.0		0	14	10
3年目	H 36	0.6756	100.0		0	14	10
4年目	H 37	0.6496	100.0		0	15	9
5年目	H 38	0.6246	100.0		0	15	9
6年目	H 39	0.6006	100.0		0	15	9
7年目	H 40	0.5775	100.0		0	15	9
8年目	H 41	0.5553	100.0		0	15	8
9年目	H 42	0.5339	100.0		0	15	8
10年目	H 43	0.5134	100.0		0	15	8
11年目	H 44	0.4936	100.0		0	15	7
12年目	H 45	0.4746	100.0		0	15	7
13年目	H 46	0.4564	100.0		0	15	7
14年目	H 47	0.4388	100.0		0	15	7
15年目	H 48	0.4220	100.0		0	15	6
16年目	H 49	0.4057	100.0		0	15	6
17年目	H 50	0.3901	100.0		0	15	6
18年目	H 51	0.3751	100.0		0	15	6
19年目	H 52	0.3607	100.0		0	15	6
20年目	H 53	0.3468	100.0		0	15	5
21年目	H 54	0.3335	100.0		0	15	5
22年目	H 55	0.3207	100.0		0	15	5
23年目	H 56	0.3083	100.0		0	15	5
24年目	H 57	0.2965	100.0		0	15	5
25年目	H 58	0.2851	100.0		0	15	4
26年目	H 59	0.2741	100.0		0	15	4
27年目	H 60	0.2636	100.0		0	15	4
28年目	H 61	0.2534	100.0		0	15	4
29年目	H 62	0.2437	100.0		0	15	4
30年目	H 63	0.2343	100.0		0	15	3
31年目	H 64	0.2253	100.0		0	15	3
32年目	H 65	0.2166	100.0		0	15	3
33年目	H 66	0.2083	100.0		0	15	3
34年目	H 67	0.2003	100.0		0	15	3
35年目	H 68	0.1926	100.0		0	14	3
36年目	H 69	0.1852	100.0		0	14	3
37年目	H 70	0.1780	100.0		0	14	3
38年目	H 71	0.1712	100.0		0	14	2
39年目	H 72	0.1646	100.0		0	14	2
40年目	H 73	0.1583	100.0		0	14	2
41年目	H 74	0.1522	100.0		0	14	2
42年目	H 75	0.1463	100.0		0	14	2
43年目	H 76	0.1407	100.0		0	14	2
44年目	H 77	0.1353	100.0		0	14	2
45年目	H 78	0.1301	100.0		0	14	2
46年目	H 79	0.1251	100.0		0	14	2
47年目	H 80	0.1203	100.0		0	14	2
48年目	H 81	0.1157	100.0		0	14	2
49年目	H 82	0.1112	100.0	-1,352	-150	14	2
合計				3,407	4,142	760	273
単純事業費計				4,759		760	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)

年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (関東臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
	年次	乗用車類	小型貨物	普通貨物			全車	乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%	
																					①
供用開始年次	H 33	1.00175	1.01052	0.99527	1.00219	0.7599	100.0	296	46	286	628	477	16	2	30	47	35	12	9	687	522
1年目	H 34	1.00174	1.01041	0.99525	1.00218	0.7307	100.0	296	47	285	628	459	16	2	29	47	34	12	9	687	502
2年目	H 35	1.00174	1.01030	0.99523	1.00218	0.7026	100.0	297	47	283	627	441	16	2	29	46	33	12	9	686	482
3年目	H 36	1.00174	1.01020	0.99520	1.00217	0.6756	100.0	297	48	282	627	424	16	2	29	46	31	12	8	686	463
4年目	H 37	1.00173	1.01009	0.99518	1.00217	0.6496	100.0	298	48	280	627	407	16	2	29	46	30	12	8	685	445
5年目	H 38	1.00173	1.00999	0.99516	1.00217	0.6246	100.0	298	49	279	626	391	16	2	29	46	29	12	8	685	428
6年目	H 39	1.00173	1.00989	0.99513	1.00216	0.6006	100.0	299	49	278	626	376	16	2	29	46	28	12	7	684	411
7年目	H 40	1.00172	1.00980	0.99511	1.00216	0.5775	100.0	299	50	276	626	361	16	2	29	46	27	12	7	684	395
8年目	H 41	1.00172	1.00970	0.99509	1.00215	0.5553	100.0	300	50	275	625	347	16	2	28	46	25	12	7	684	380
9年目	H 42	0.98976	1.00237	0.99372	0.99259	0.5339	100.0	300	51	274	625	334	16	2	28	46	24	12	7	683	365
10年目	H 43	0.98965	1.00236	0.99368	0.99253	0.5134	100.0	297	51	272	620	318	16	2	28	45	23	12	6	678	348
11年目	H 44	0.98954	1.00236	0.99364	0.99248	0.4936	100.0	294	51	270	616	304	15	2	28	45	22	12	6	673	332
12年目	H 45	0.98943	1.00235	0.99360	0.99242	0.4746	100.0	291	51	269	611	290	15	2	28	45	21	12	6	668	317
13年目	H 46	0.98932	1.00234	0.99356	0.99236	0.4564	100.0	288	51	267	606	277	15	2	28	44	20	12	6	663	302
14年目	H 47	0.98920	1.00234	0.99352	0.99231	0.4388	100.0	285	51	265	601	264	15	2	27	44	19	12	5	658	289
15年目	H 48	0.98909	1.00233	0.99348	0.99225	0.4220	100.0	282	52	263	597	252	15	2	27	44	18	12	5	653	275
16年目	H 49	0.98896	1.00233	0.99343	0.99218	0.4057	100.0	279	52	262	592	240	15	2	27	43	18	12	5	647	263
17年目	H 50	0.98884	1.00232	0.99339	0.99212	0.3901	100.0	276	52	260	587	229	15	2	27	43	17	12	5	642	251
18年目	H 51	0.98872	1.00232	0.99335	0.99206	0.3751	100.0	273	52	258	583	219	14	2	27	43	16	12	4	637	239
19年目	H 52	0.98859	1.00231	0.99330	0.99200	0.3607	100.0	270	52	257	578	209	14	2	27	42	15	12	4	632	228
20年目	H 53	0.98846	1.00231	0.99326	0.99193	0.3468	100.0	267	52	255	573	199	14	2	26	42	15	11	4	627	217
21年目	H 54	0.98832	1.00230	0.99321	0.99187	0.3335	100.0	263	52	253	569	190	14	2	26	42	14	11	4	622	207
22年目	H 55	0.98818	1.00230	0.99316	0.99180	0.3207	100.0	260	52	251	564	181	14	2	26	41	13	11	4	617	198
23年目	H 56	0.98804	1.00229	0.99312	0.99173	0.3083	100.0	257	52	250	559	172	14	2	26	41	13	11	3	612	189
24年目	H 57	0.98790	1.00229	0.99307	0.99166	0.2965	100.0	254	53	248	555	164	13	2	26	41	12	11	3	607	180
25年目	H 58	0.98775	1.00228	0.99302	0.99159	0.2851	100.0	251	53	246	550	157	13	2	25	40	12	11	3	602	171
26年目	H 59	0.98760	1.00227	0.99297	0.99152	0.2741	100.0	248	53	244	545	149	13	2	25	40	11	11	3	596	163
27年目	H 60	0.98744	1.00227	0.99292	0.99145	0.2636	100.0	245	53	243	541	143	13	2	25	40	10	11	3	591	156
28年目	H 61	0.98728	1.00226	0.99287	0.99138	0.2534	100.0	242	53	241	536	136	13	2	25	39	10	11	3	586	149
29年目	H 62	0.98712	1.00226	0.99282	0.99130	0.2437	100.0	239	53	239	531	129	13	2	25	39	10	11	3	581	142
30年目	H 63	0.98695	1.00225	0.99277	0.99122	0.2343	100.0	236	53	238	527	123	12	2	25	39	9	11	2	576	135
31年目	H 64	0.98678	1.00225	0.99272	0.99115	0.2253	100.0	233	53	236	522	118	12	2	24	38	9	10	2	571	129
32年目	H 65	0.98660	1.00224	0.99266	0.99107	0.2166	100.0	230	54	234	517	112	12	2	24	38	8	10	2	566	123
33年目	H 66	0.98642	1.00224	0.99261	0.99099	0.2083	100.0	227	54	232	513	107	12	2	24	38	8	10	2	561	117
34年目	H 67	0.98623	1.00223	0.99255	0.99091	0.2003	100.0	223	54	231	508	102	12	2	24	37	7	10	2	556	111
35年目	H 68	0.98604	1.00223	0.99250	0.99082	0.1926	100.0	220	54	229	503	97	12	2	24	37	7	10	2	550	106
36年目	H 69	0.98584	1.00222	0.99244	0.99074	0.1852	100.0	217	54	227	499	92	11	2	24	37	7	10	2	545	101
37年目	H 70	0.98564	1.00222	0.99238	0.99065	0.1780	100.0	214	54	226	494	88	11	2	23	36	6	10	2	540	96
38年目	H 71	0.98543	1.00221	0.99232	0.99056	0.1712	100.0	211	54	224	489	84	11	2	23	36	6	10	2	535	92
39年目	H 72	0.98521	1.00221	0.99227	0.99047	0.1646	100.0	208	54	222	485	80	11	2	23	36	6	10	2	530	87
40年目	H 73	0.98499	1.00220	0.99221	0.99038	0.1583	100.0	205	55	220	480	76	11	2	23	35	6	10	2	525	83
41年目	H 74	0.98476	1.00220	0.99214	0.99029	0.1522	100.0	202	55	219	475	72	11	2	23	35	5	10	1	520	79
42年目	H 75	0.98452	1.00219	0.99208	0.99019	0.1463	100.0	199	55	217	471	69	10	2	22	35	5	9	1	515	75
43年目	H 76	0.98428	1.00219	0.99202	0.99009	0.1407	100.0	196	55	215	466	66	10	2	22	34	5	9	1	510	72
44年目	H 77	0.98403	1.00219	0.99195	0.99000	0.1353	100.0	193	55	214	461	62	10	2	22	34	5	9	1	505	68
45年目	H 78	0.98377	1.00218	0.99189	0.98989	0.1301	100.0	190	55	212	457	59	10	2	22	34	4	9	1	499	65
46年目	H 79	0.98350	1.00218	0.99182	0.98979	0.1251	100.0	187	55	210	452	57	10	2	22	33	4	9	1	494	62
47年目	H 80	0.98323	1.00217	0.99176	0.98969	0.1203	100.0	183	55	208	447	54	10	2	22	33	4	9	1	489	59
48年目	H 81	0.98294	1.00217	0.99169	0.98958	0.1157	100.0	180	55	207	443	51	9	2	21	33	4	9	1	484	56
49年目	H 82	0.98264	1.00216	0.99162	0.98947	0.1112	100.0	177	56	205	438	49	9	2	21	32	4	9	1	479	53
合計 (H31~H80)								12,471	2,617	12,337	27,426	9,855	657	88	1,276	2,020	726	547	196	29,993	10,777

便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 第二東海自動車道(海老名南JCT~秦野)

年度 (基準年)	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (関東臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%	
																					乗用車類
供用開始年次	H 33	1.00175	1.01052	0.99527	1.00219	0.7599	100.0	296	46	286	628	477	16	2	30	47	35	12	9	687	522
1年目	H 34	1.00174	1.01041	0.99525	1.00218	0.7307	100.0	296	47	285	628	459	16	2	29	47	34	12	9	687	502
2年目	H 35	1.00174	1.01030	0.99523	1.00218	0.7026	100.0	297	47	283	627	441	16	2	29	46	33	12	9	686	482
3年目	H 36	1.00174	1.01020	0.99520	1.00217	0.6756	100.0	297	48	282	627	424	16	2	29	46	31	12	8	686	463
4年目	H 37	1.00173	1.01009	0.99518	1.00217	0.6496	100.0	298	48	280	627	407	16	2	29	46	30	12	8	685	445
5年目	H 38	1.00173	1.00999	0.99516	1.00217	0.6246	100.0	298	49	279	626	391	16	2	29	46	29	12	8	685	428
6年目	H 39	1.00173	1.00989	0.99513	1.00216	0.6006	100.0	299	49	278	626	376	16	2	29	46	28	12	7	684	411
7年目	H 40	1.00172	1.00980	0.99511	1.00216	0.5775	100.0	299	50	276	626	361	16	2	29	46	27	12	7	684	395
8年目	H 41	1.00172	1.00970	0.99509	1.00215	0.5553	100.0	300	50	275	625	347	16	2	28	46	25	12	7	684	380
9年目	H 42	0.98976	1.00237	0.99372	0.99259	0.5339	100.0	300	51	274	625	334	16	2	28	46	24	12	7	683	365
10年目	H 43	0.98965	1.00236	0.99368	0.99253	0.5134	100.0	297	51	272	620	318	16	2	28	45	23	12	6	678	348
11年目	H 44	0.98954	1.00236	0.99364	0.99248	0.4936	100.0	294	51	270	616	304	15	2	28	45	22	12	6	673	332
12年目	H 45	0.98943	1.00235	0.99360	0.99242	0.4746	100.0	291	51	269	611	290	15	2	28	45	21	12	6	668	317
13年目	H 46	0.98932	1.00234	0.99356	0.99236	0.4564	100.0	288	51	267	606	277	15	2	28	44	20	12	6	663	302
14年目	H 47	0.98920	1.00234	0.99352	0.99231	0.4388	100.0	285	51	265	601	264	15	2	27	44	19	12	5	658	289
15年目	H 48	0.98909	1.00233	0.99348	0.99225	0.4220	100.0	282	52	263	597	252	15	2	27	44	18	12	5	653	275
16年目	H 49	0.98896	1.00233	0.99343	0.99218	0.4057	100.0	279	52	262	592	240	15	2	27	43	18	12	5	647	263
17年目	H 50	0.98884	1.00232	0.99339	0.99212	0.3901	100.0	276	52	260	587	229	15	2	27	43	17	12	5	642	251
18年目	H 51	0.98872	1.00232	0.99335	0.99206	0.3751	100.0	273	52	258	583	219	14	2	27	43	16	12	4	637	239
19年目	H 52	0.98859	1.00231	0.99330	0.99200	0.3607	100.0	270	52	257	578	209	14	2	27	42	15	12	4	632	228
20年目	H 53	0.98846	1.00231	0.99326	0.99193	0.3468	100.0	267	52	255	573	199	14	2	26	42	15	11	4	627	217
21年目	H 54	0.98832	1.00230	0.99321	0.99187	0.3335	100.0	263	52	253	569	190	14	2	26	42	14	11	4	622	207
22年目	H 55	0.98818	1.00230	0.99316	0.99180	0.3207	100.0	260	52	251	564	181	14	2	26	41	13	11	4	617	198
23年目	H 56	0.98804	1.00229	0.99312	0.99173	0.3083	100.0	257	52	250	559	172	14	2	26	41	13	11	3	612	189
24年目	H 57	0.98790	1.00229	0.99307	0.99166	0.2965	100.0	254	53	248	555	164	13	2	26	41	12	11	3	607	180
25年目	H 58	0.98775	1.00228	0.99302	0.99159	0.2851	100.0	251	53	246	550	157	13	2	25	40	12	11	3	602	171
26年目	H 59	0.98760	1.00227	0.99297	0.99152	0.2741	100.0	248	53	244	545	149	13	2	25	40	11	11	3	596	163
27年目	H 60	0.98744	1.00227	0.99292	0.99145	0.2636	100.0	245	53	243	541	143	13	2	25	40	10	11	3	591	156
28年目	H 61	0.98728	1.00226	0.99287	0.99138	0.2534	100.0	242	53	241	536	136	13	2	25	39	10	11	3	586	149
29年目	H 62	0.98712	1.00226	0.99282	0.99130	0.2437	100.0	239	53	239	531	129	13	2	25	39	10	11	3	581	142
30年目	H 63	0.98695	1.00225	0.99277	0.99122	0.2343	100.0	236	53	238	527	123	12	2	25	39	9	11	2	576	135
31年目	H 64	0.98678	1.00225	0.99272	0.99115	0.2253	100.0	233	53	236	522	118	12	2	24	38	9	10	2	571	129
32年目	H 65	0.98660	1.00224	0.99266	0.99107	0.2166	100.0	230	54	234	517	112	12	2	24	38	8	10	2	566	123
33年目	H 66	0.98642	1.00224	0.99261	0.99099	0.2083	100.0	227	54	232	513	107	12	2	24	38	8	10	2	561	117
34年目	H 67	0.98623	1.00223	0.99255	0.99091	0.2003	100.0	223	54	231	508	102	12	2	24	37	7	10	2	556	111
35年目	H 68	0.98604	1.00223	0.99250	0.99082	0.1926	100.0	220	54	229	503	97	12	2	24	37	7	10	2	550	106
36年目	H 69	0.98584	1.00222	0.99244	0.99074	0.1852	100.0	217	54	227	499	92	11	2	24	37	7	10	2	545	101
37年目	H 70	0.98564	1.00222	0.99238	0.99065	0.1780	100.0	214	54	226	494	88	11	2	23	36	6	10	2	540	96
38年目	H 71	0.98543	1.00221	0.99232	0.99056	0.1712	100.0	211	54	224	489	84	11	2	23	36	6	10	2	535	92
39年目	H 72	0.98521	1.00221	0.99227	0.99047	0.1646	100.0	208	54	222	485	80	11	2	23	36	6	10	2	530	87
40年目	H 73	0.98499	1.00220	0.99221	0.99038	0.1583	100.0	205	55	220	480	76	11	2	23	35	6	10	2	525	83
41年目	H 74	0.98476	1.00220	0.99214	0.99029	0.1522	100.0	202	55	219	475	72	11	2	23	35	5	10	1	520	79
42年目	H 75	0.98452	1.00219	0.99208	0.99019	0.1463	100.0	199	55	217	471	69	10	2	22	35	5	9	1	515	75
43年目	H 76	0.98428	1.00219	0.99202	0.99009	0.1407	100.0	196	55	215	466	66	10	2	22	34	5	9	1	510	72
44年目	H 77	0.98403	1.00219	0.99195	0.99000	0.1353	100.0	193	55	214	461	62	10	2	22	34	5	9	1	505	68
45年目	H 78	0.98377	1.00218	0.99189	0.98989	0.1301	100.0	190	55	212	457	59	10	2	22	34	4	9	1	499	65
46年目	H 79	0.98350	1.00218	0.99182	0.98979	0.1251	100.0	187	55	210	452	57	10	2	22	33	4	9	1	494	62
47年目	H 80	0.98323	1.00217	0.99176	0.98969	0.1203	100.0	183	55	208	447	54	10	2	22	33	4	9	1	489	59
48年目	H 81	0.98294	1.00217	0.99169	0.98958	0.1157	100.0	180	55	207	443	51	9	2	21	33	4	9	1	484	56
49年目	H 82	0.98264	1.00216	0.99162	0.98947	0.1112	100.0	177	56	205	438	49	9	2	21	32	4	9	1	479	53
合計(H31~H80)								12,471	2,617	12,337	27,426	9,855	657	88	1,276	2,020	726	547	196	29,993	10,777